

(2) 学生研修

1) 1年次学生の合宿研修

工学部では新入生に対して教官と学生及び学生間の懇親を図るため毎年合宿研修または日帰りの研修を行っている。平成21年度の各学科の研修は次のとおりである。

2-1.1 物質生命化学科

本学科では、合宿研修におけるスポーツ大会を通じて新入生と教職員及び、学生会(青藍会)と新入生の親睦を図っている。また、学科研修会として各研究室および技術部の教職員自己紹介と研究内容の紹介を行っている。平成21年度の物質生命化学科1年次の学生研修の概要は次の通りである。

日時: 2009年4月25日(土)

場所: 熊本大学黒髪南地区 工学部百周年記念館(研修会)、FORICO(歓迎立食パーティー)

参加学生数: 1年生86名、3年次編入生6名、学科教職員および青藍会学生: 18名

参加教職員数: 29名(研修会)

日程及び内容等:

4月25日:

- | | |
|-------------|--------------------------------|
| 8:50 | 集合 |
| 9:00 | 開式(学生支援委員) |
| 9:00-9:10 | 学科長挨拶、1年担任挨拶 |
| 9:10-10:10 | 学科研修会
～研究・教育活動の紹介① |
| 10:20-11:20 | 学科研修会
～研究・教育活動の紹介② |
| 11:20-12:40 | 座談会(学科年間行事の紹介、
学生生活 Q&A、など) |
| 13:00-14:30 | 新入生歓迎立食パーティー |
| 16:00-19:00 | 物生 大ボウリング大会 |

2-1.2 マテリアル工学科

日時: 2009年5月18日(月)～19日(火)

場所: 国立夜須高原少年自然の家(福岡県朝倉郡筑前町三箇山1103)

参加学生数: 1年生46名、修士2年生 1名

参加教員数: 教職員数3名

日程および内容等:

- ・ものづくり研修: 陶芸
- ・講演会: (独)産業技術総合研究所 野中一洋氏による研究紹介と学生生活の有意義な過ごし方
- ・グループ活動(オリエンテーリング)

2-1.3 機械システム工学科

本学科では、新入生の導入授業である機械システム入門セミナーの一環として日帰りの研修旅行を実施しており、機械システムの専門科目を学ぶことの動機付けと社会に踏み出す際に必要な心構えについての教育を行うと共に、学生間ならびに学生－担任間の親睦を図っている。平成21年度の機械システム工学科1年次の研修旅行の概要は次のとおりである。

実施日：平成21年5月12日(火)

スケジュール：9:00～10:00 特別講演

10:30～18:00 八丁原地熱発電所見学

参加人数：学生103名、教員4名

実施内容：午前9時より、ケンブリッジ大学での在外研究から帰朝した岩本准教授の特別講演を聴講。その後、バスにて九州電力八丁原発電所に移動した。発電所において、地熱発電の原理と設備概要の説明を受け、発電所紹介ビデオの視聴、施設見学ののち大学に戻った。

2-1.4 社会環境工学科

2009年度合宿研修が5月11日(月)、12日(火)の2日間開催された。本年度は、「学外の土木施設やまちづくりの現場を見学し、先生方や同級生と議論することで、本学科における学習や研究の意義を学ぶ」ことを目的に、学生同士や教員との交流を深めよう、という意図で、準備段階から蘇遙会(当学科学生組織)幹部の方々に協力いただいた。社会基盤整備の「これから」と「これまで」、また、社会環境工学の「多様な拡がり」、これらを実感してもらうため、ボランティアガイドの方や、見学先自治体の行政マンによる現地の解説の他、地域のみなさんと触れ合う場を設定した。また、新入生が入学して間もなく集めた新入生アンケートの統計結果を元に、1時間半程度におよぶ教員と学生の懇談会が行われた。内容は下記の通り。

参加者：学生 76 名， 教員：16 名 (TA：8 名)

スケジュール：

1日目：5月11日

熊本大学 → 九州新幹線富合車両基地工事現場 → 御立岬公園 → 佐敷隧道と佐敷城跡 → 熊本県立芦北青少年の家(意見交換会)

2日目：5月27日

天草青年の家 → 水環境に関するレクチャー@熊本県環境センター → 地域づくりに関するレクチャー@芦北町横居木地区 → 熊本大学

2-1.5 建築学科

日時：6月1日(月)～2日(火)

場所：国立大学九重研修所

〒879-4912 大分県玖珠郡九重町湯坪字八丁原 600-1 TEL(0973)79-2617

参加学生数：60名

参加教員数 11名

日程および内容等:

1日(月)

8:30 熊本大学集合 工学部百周年記念館前、点呼
9:00 出発
10:30 建物見学(小国ドーム、ゆうステーション)
12:00 昼食(木魂館)
13:00 出発
14:00 研修所着、バレーボール
15:30 入浴
16:30 講演会 長谷川麻子氏
演題:**カナダの最新“環境”事情** (九重研修所大研室)
18:00 夕食
19:00 懇親会(大広間)
22:00 消灯

2日(火)

7:30 起床
8:00 朝食・掃除
9:00 出発
10:30 日田着
10:30-11:30 草野本家見学
11:30-12:30 豆田町見学
12:30 昼食
13:00 出発
13:30 吉井町着、白壁土蔵の町並み見学
14:30 出発
16:00 熊大着

2-1.6 情報電気電子工学科

情報電気電子工学科一年次の合宿研修は、一年次学生156名を2班に分けて、下記の通り5月11日(月)~12日(火)の一泊二日の日程で行った。

(1)A組

日時: 2009年5月11日(月)~5月12日(火)

場所: 九州地区国立大学九重共同研修所

参加学生数: 1年生78名(A組、B組の学生番号下1桁が奇数の者)

参加大学院生数: 8名

参加教職員数: 8名

日程および内容等:

<u>5月11日(月)</u>	<u>5月12日(火)</u>
09:00 熊本大学 集合	07:00 起床
09:20 熊本大学 出発	07:30 朝食
11:00 草千里 到着(昼食)	08:30 特別講演(内村先生)
12:00 草千里 出発	09:00 研修3(グループ発表)
13:20 九重共同研修所 到着	10:45 九重共同研修所 出発
13:30 研修1(偏愛マップによる自己紹介)	11:00 八丁原地熱発電所 見学
15:30 自由時間(体育館でスポーツ)	12:30 八丁原地熱発電所 出発
17:30 夕食	12:50 長者原 到着, 昼食
18:30 入浴 / 休憩	13:50 長者原 出発
19:00 研修2(ものづくりアイデア討論)	15:00 阿蘇大観峰 到着
20:30 親睦会	16:00 阿蘇大観峰 出発
22:00 消灯	17:30 熊本大学 到着

その他: 2日目に急病人が発生したため、引率の上田教授が付き添って、研修所の地元の診療所で受診後、診療所が午前中で閉まるため、小国中央病院で診察を受けることのために移動し、診療休養後ある程度回復したので、阿蘇大観峰で合流して一緒に帰学した。

(2)B組

日時: 2009年5月11日(月)~5月12日(火)

場所: 九州地区国立大学島原共同研修センター

参加学生数: 1年生78名(A組、B組の学生番号下1桁が偶数の者)

参加大学院生数: 8名

参加教職員数: 8名

日程および内容等:

<u>5月11日(月)</u>	<u>5月12日(火)</u>
08:00 熊本大学 集合	07:00 起床
08:15 熊本大学 出発	07:30 朝食
09:55 熊本港から島原行フェリーに乗船	08:30 特別講演(奥野先生)
11:30 島原共同研修センター 到着	09:00 研修3(グループ発表)
12:00 昼食	11:00 島原共同研修センター 出発
13:00 研修1(偏愛マップによる自己紹介)	11:30 仁田峠 到着, 昼食
15:30 自由時間(体育館でスポーツ)	12:30 仁田峠 出発
17:30 夕食	13:00 雲仙地獄めぐり
18:30 入浴 / 休憩	14:00 雲仙 出発
19:00 研修2(ものづくりアイデア討論)	14:30 みずなし本陣ふかえ 到着
20:30 親睦会	15:00 みずなし本陣ふかえ 出発
22:00 消灯	15:45 島原港から熊本行フェリーに乗船
	17:00 熊大 到着

2-1.7 数理工学科

本学科の新入生を対象にした研修旅行は、下記の通り 5 月 23 日(土)に、学生 12 名、教職員 3 名の計 29 名の参加のもとに行われた。学生間、および学生と教職員の親睦を図ると共に、工場など見学を通して、ものづくりの現場を体験した。

日時 2009年5月23日(土)

場所 ・午前 フードパル 見学1. 杉養蜂園:蜜ろうづくり、 見学2. 熊本ワイン

・午後 河内 拝み石 :林間遊歩道を散策、古代石の見学
岩戸の里公園 :「霊巖洞」見学

なお、当初見学先として

「サントリービール工場:天然水(阿蘇)探究ツアー ミネラルウォーター体験講座」を予約していたが、インフルエンザの流行と重なり直前のキャンセルとなり、上記コースに変更した。